

担当看護師

月 日 () 日目

学生氏名

本日の目標		
受けもち 患者の スケジュール	看護師との 援助	援助の意味を考える
8 : 3 0		*指導者と実施した日常生活援助や患者との関わりを振り返り、援助や関わりが 患者にとってどのような意味を持っていたのかを具体的に考える。 <u>援助の実際</u> <u>と患者の反応を詳細に</u>記載し、<u>援助の意味を自分の言葉で表現する。</u>
1 0 : 0 0		
1 1 : 0 0		
1 2 : 0 0		
1 3 : 0 0		
1 4 : 0 0		
1 5 : 0 0		
1 6 : 0 0		
指導者からの助言（助言内容を学生自身が記入：赤文字）		
ラベル貼付		

____月 ____日 実習（ ____ ）日目

本日の目標	
-------	--

時間	患者の スケジュール	自己の援助計画	援助計画 ※目標を達成するための援助（具体的に記載する）
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

計画した援助に対する SOAP
（アセスメントではクリティカルな視点をもってリフレクションする）

目標以外の援助や患者との関り・看護師の行う看護から学んだことや明日以降への課題

指導者からの助言（自己で記入：赤文字）

ラベル貼付

学籍番号 _____

学生氏名 _____

受けもち患者： _____ 氏

(記入日 _____ 月 _____ 日)

入院の疾患				年齢 (○歳代)		性別	
疾患による症状							
入院までの経過							
受けもつまでの経過							
既往歴 (過去の入院歴)							
日常生活動作	食事	入院前			入院後 現在		
	排泄						
	移動						
	清潔						
	更衣						
	睡眠						
	コミュニケーション						
	その他						
補助具の使用		無 / 有		家族構成	キーパーソン：(続柄) _____ 同居： 有・ 無		
社会資源の使用		無 / 有					
現在行われている治療							

- * 患者の生活を理解するために、患者の生活してきた歴史や背景を知る
 - * 入院前の生活を知る
 - * 現在の生活を知る
 - * 高齢者の特徴を患者の生活と関連付けて表現する（発達課題を含む）
- 生活リズム・生活スタイル・大切にしている物や時間など
(1日単位・1週間単位などでも捉える)

生活に影響を及ぼしている要因について、
高齢者の特徴・疾患など様々な視点で
アセスメントする

学籍番号 _____ 学生氏名 _____

月 日 学籍番号 学生氏名

看護上の問題点	*病棟で計画されている看護計画や実施されている看護援助を踏まえて記載する
注目していること	*日々の振り返りから援助の意味や根拠を考えた上で患者の日常生活で自己が注目していることを記載する
患者のねがう生活	*患者の生活を理解した上で、援助の実践や患者との関わりから見えてきた患者の思いやねがう生活を考える (患者を取り巻く人々の思いやねがう生活も合わせて考える)
看護の方向性 (長期目標・短期目標)	*注目していることと患者のねがう生活を踏まえて、自己が計画していく看護の方向性(長期目標・短期目標)を具体的に記載する
助言	

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
対象の生活に影響している要因を見出す	高齢者の身体的・心理的・社会的機能の特性を捉え、対象の生活に関連付けて理解できる	対象理解 探求心	面接 一日の実習計画 患者記録 事前学習	一般的な高齢者の特徴を捉え、対象の生活と比較することで、生活に影響している要因を見出すことができる 20	一般的な高齢者の特徴を捉え、対象の生活と比較して考えることができる 13	一般的な高齢者の特徴を「老いと成熟」に視点を置いて捉えている 7	一般的な高齢者の特徴を「老い」に視点を置いて捉えている 3
対象の特性を活かし尊重した援助の実践をする	対象の強みを活かし安心して生活するための援助ができる	対象理解 実践力 探求心 調整力 倫理観	面接・実習状況 1日の実習計画 患者記録 ミーティング 時間調整・相談状況	対象の強みを活かした援助をすることで、尊重した援助の方法を見出し実践している 20	対象が持つ可能性と危険性を踏まえた生活援助ができる 13	対象の身体機能を把握して、日常生活における危険性とそれを増す要因を捉えている 7	対象の身体機能を把握して表現している 3
自己の実践が患者がねがう生活にどのように影響しているのかを振り返る	対象がねがう生活と実施している援助を関連付けている	対象理解 探求心 倫理観	面接 一日の実習記録 患者記録 ミーティング	対象と対象を取り巻く人たちとの関わりから地域で暮らす対象がねがう生活を見出し、自己の看護実践が対象に及ぼす影響について考えている 20	対象と対象を取り巻く人たちとの関わりから、対象がねがう生活を見出し、自己の看護実践を振り返っている 13	対象と対象を取り巻く人たちとの関わりから、対象がねがう生活を見出している 7	対象との関わりから、入院生活で対象がねがう生活を見出している 3
自己の高齢者観を表現する	実習での学びから自己の高齢者観を深めることができる	探求心 倫理観	プロセスチャート ミーティング 実習記録	実習での学びを活かしてプロセスチャートで自己の高齢者観を表現し、仲間と意見交換することで、さらに深めることができる 20	実習での学びを活かしてプロセスチャートで自己の高齢者観を表現することができる 13	プロセスチャートで自己の高齢者観を表現している 7	自己の高齢者観を表現している 3
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する	医療者として、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る必要性を理解し、適切な行動を取っている 20	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている 13	社会的規範は守るっているが、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る意識が低い 5	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している 1

欠課時間

()時間／90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン

学生番号:

氏名:

ゴール (目的): 『地域でその人らしく暮らしていくために必要な老年看護の役割』 とは

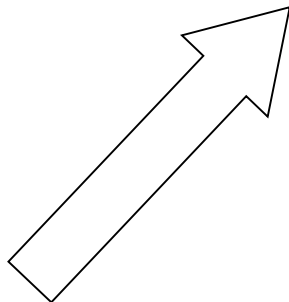
テーマ: ① 高齢者の特性を活かした援助場面から、自己の気づきを表現

② その場面の自己の気づきから、現在の自己を振り返り、感じ・思い・考えたことを表現

また、振り返りからゴール (目的) に向かうために必要な自分も表現する

* どちらも、より具体的に、自分自身の思い・考えを表現してみよう!

②そこから、私が感じ・思い・考えたこと



指導者より (学生が記載する: 赤文字)

① 高齢者との関わりから見た老年看護の場面

老年看護学実習Ⅱ 記録Ⅱ 一日の実習計画表

No.

学籍番号： 学生氏名： 担当看護師：

月 日 実習（ ）日目 受けもち患者： 氏

本日の目標		
計画・実施	プラン	学んだこと・気づいたこと
8:30		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
指導者からの助言		

老年看護学実習Ⅱ 記録Ⅱ 一日の実習計画表

No.

学籍番号： 学生氏名： 担当看護師：

月 日 実習（ ）日目 受けもち患者： 氏

本日の目標		
計画・実施	プラン	学んだこと・気づいたこと
8:30		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
指導者からの助言		

学籍番号 _____

学生氏名 _____

受けもち患者： _____ 氏

(記入日 _____ 月 _____ 日)

入院の疾患				年齢（○歳代）		性別	
疾患による症状							
入院までの経過							
受けもつまでの経過							
既往歴 (過去の入院歴)							
日常生活動作	食事	入院前			入院後 現在		
	排泄						
	移動						
	清潔						
	更衣						
	睡眠						
	コミュニケーション						
	その他						
補助具の使用		無 / 有		家族構成	キーパーソン：(続柄) _____ 同居： 有・ 無		
社会資源の使用		無 / 有					
現在行われている治療							

学籍番号 _____ 学生氏名 _____

月

日

学籍番号

学生氏名

看護上の問題点	*病棟で計画されている看護計画や実施されている看護援助を踏まえて記載する
注目していること	*患者の日常生活で注目していること
患者のねがう生活	*患者の思いやねがう生活を考える（患者を取り巻く人々の思いやねがう生活も合わせて考える）
看護の方向性 （長期目標・短期目標）	*注目していることと患者のねがう生活を踏まえて、自己が計画していく看護の方向性（目標）を具体的に記載する
助言	

患者：氏		長期目標：
立案日	短期目標	具 体 策

老年看護学実習Ⅱ 評価表

学籍番号：

氏名：

学習活動	具体的な評価基準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一歩努力を要する
高齢者の特徴や受けもち患者の個性を尊重した援助の実践をする	複数患者の関わりから見えたその人らしさを援助に活かすことができる	対象理解 実践力	事前学習 老年看護記録 ミーティング 面接 ポートフォリオ	複数患者の関わりから、援助を振り返り、受けもち患者を尊重した援助の実践をしている 20	複数患者の関わりから見えた、対象の強みを活かした援助の実践をしている 15	対象が持つ可能性と危険性を踏まえ強みを活かした生活援助ができる 10	得られた対象理解への情報を日々整理し考え表現している 5
看護チームの一員として、役割をはたしている	継続する看護実践のために看護チームでの協働ができる	探究心 実践力 調整力 倫理観	老年看護記録 ミーティング 面接・実習状況 時間調整・相談状況	看護チームの一員として自らの役割を果たし協働している 25	継続した看護実践のために看護チームとの情報共有にチームの一員として自ら仲間に働きかけている 17	受けもち患者の看護実践のためにチームの一員として協力することができる 10	得られた情報から看護実践が行え、実施したことを表現することができる 5
対象のねがう生活に近づけるために必要な社会支援を探求し自ら関わりを持ち活用している	目的をもって対象を取り巻く人と関わり、得られた情報を活用できる	調整力 実践力 倫理観	老年看護記録 ミーティング 面接 時間調整・相談状況	多職種と関わりながら、得られた情報を活用して看護者としての役割をはたしている 20	多職種と自ら関わり情報を共有し看護に活かしている 15	対象のねがう生活に近づけるために必要な情報を自ら発見し情報を得ている 10	看護スタッフから社会支援に必要な情報を得て関連づけている 5
看護職としての役割を対象の暮らしを意識した看護実践から表現する	地域でその人らしく暮らしていくための老年看護の役割を見出すことができる	探究心 倫理観	老年看護記録 発表資料・発表 ミーティング ポートフォリオ	高齢者がその人らしく地域で暮らしていくために必要な役割について場面を活かして表現している 25	高齢者が地域で暮らしていくために必要な役割について自己の考えを表現している 17	高齢者の生活を支えていくために必要な看護の役割・機能を表現している 10	老年期の看護の特徴を表現している 1
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動をとり、仲間の模範となりチームをけん引している 10	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている 5	社会的規範は守っているが、看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る意識が低い 0	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している 0

欠課時間

()時間／90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン